

村政執行方針・教育行政執行方針



猿払村長
伊藤 浩一

村政執行方針

私は、昨年12月から4期目の村政を担わせていただくこととなりました。改めて、皆様の負託に応えるべく、現実を見据えながら猿払村の成長を加速させるとともに、基幹産業の更なる発展と村民の生命・財産を守ることを最優先に、誰もが自分らしく、いつまでも安心して暮らしていけるまちづくりに取り組み、次代を担う子どもたちの

育成など、令和8年度を始期とする「第8次猿払村総合計画」を着実に進め、「誰にでもやさしいまちづくり」の実現を図ってまいります。

第1に「豊かな産業がある村」の実現のため、農林水産業・商工業や観光分野の振興などに取り組みまいります。

第2に「村民の豊かな暮らしを支える環境がある村」の実現のため、情報発信や住宅環境の整備、医療体制や高齢者・障がい者福祉の充実に取

り組んでまいります。第3に、「心豊かでステキな人がいる村」の実現のため、子育て世代への支援や子どもの教育の推進に取り組んでまいります。

行政運営に当たっては、限られた資源を有効に活用し、更なる行政効率の向上や自立性の高い行政運営を持続的に進めるため、事務事業の「選択と集中」、社会情勢の変化に対応した制度の見直しなど、業務の改善・改革を図ってまいります。

教育行政執行方針

また、人口減少社会において、年々公務人材の獲得が厳しくなっていることから、適正な定員を確保できるよう、対策を進めるとともに、デジタルの促進に努めてまいります。

しかし、財政面においては、各種基金の減少傾向が続いていることに加え、昨今の物価高騰の影響等が追い打ちを掛け、持続可能な行政運営が困難な状況と言わざるを得ない状況にあることから、将来を見据えた行財政基盤の健全化を進めていかななくてはなりません。「歳入に見合った、将来にわたり持続可能な健全財政の構築」を基本方針として、聖域なき行政改革に取り組み、未来に希望を持つことができない持続可能な行政基盤の構築に努めてまいります。

急速な技術革新やグローバル化が進展し、予測困難な時代を迎える中で、教育は未来を切り拓く基盤であり、子どもたちが心豊かにたくましく生き抜く力を育むことが、我々に課せられた重要な使命です。猿払村の未来を支えるのは、子どもたちです。学校教育、社会教育、家庭教育を連携させ、社会と関わり他者を尊重する豊かな心を持ち、主体的に学び、身に付け、心身ともに健康な社会の形成者を育成することが求められており、これらの教育が安心・安全に推進される教育環境を保障してまいります。

教育を取り巻く現状と課題を踏まえ、令和8年度からの5カ年を期間と

感じられるものとなるよう、生涯学習を通じて心身の健康の維持・向上を目指してまいります。

教育委員会といたしましては、予測困難な時代の中にあっても、子どもたちがふるさと猿払村を愛し、歴史や文化に誇りを持ち、豊かな人間性や思いやりの心を発揮して世界で活躍できるようにすること、すべての村民の皆様がいきいきと豊かな

な人生を送ることができるよう各種教育施策に全力で取り組んでまいります。

教育長
松浦 隆史

